

2026 年 7 月 28 日

「〈ひろぎん〉SX ネクストローン」の実行について 〔有限会社栄晃〕

株式会社広島銀行（頭取 清宗 一男）では、「〈ひろぎん〉SX ネクストローン」を実行しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 案件概要 （「〈ひろぎん〉SX ネクストローン」の概要は【別紙 1】をご参照ください）

融資実行日	2026 年 7 月 28 日
融資形式	証書貸付
融資金額	1 億円
融資期間	7 年
目標	有給休暇取得率 ペットボトルリサイクル量
その他	ひろぎんエリアデザイン株式会社から〈ひろぎん〉SX ネクストローンにかかる評価書【別紙 2】を取得しております。

2. 企業概要

会 社 名	有限会社栄晃
所 在 地	広島県呉市川尻町才野谷 624 番地 1
代 表 者	灰田 和宏
業 種	廃棄物処理業
事業内容等	廃棄物処理・処分事業 リサイクル事業

以上



広島銀行では、SDGs への取組みを強化しております。

【SDGs（Sustainable Development Goals）持続可能な開発目標】
2015 年 9 月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての
2030 年までの世界共通目標。持続可能な開発のための 17 の目標と 169
のターゲットで構成。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社広島銀行
営業企画部 法人企画室
Tel (082) 247-5151（代表）

「〈ひろぎん〉SX ネクストローン」について

○特長

- ・地元企業のサステナビリティ向上に寄り添い、地域のサステナビリティ向上に資する取組みについて、資金面からご支援します。
- ・お客さまと地域のサステナビリティ向上につながる目標を設定していただき、目標達成の場合に金利引き下げを実施します。
- ・対外 PR 支援として、融資実行時に当行よりニュースリリースを行い、サステナビリティへの取組みの対外公表をご支援します。

○商品概要

対象となる方	以下のすべてを満たす法人のお客さま ・自社と地域のサステナビリティ向上に資する目標を設定※ ・年 1 回のレポートの実施（お客さまから銀行への報告） ※設定目標には、ひろぎんエリアデザインによる評価を実施
お使いみち	運転資金・設備資金
ご融資金額	当行所定の金額
ご融資期間	2 年以上（固定金利は 10 年以内）
ご融資利率	当行所定の金利（目標達成の場合、金利引下げを実施）
ご融資形式	証書貸付・当座貸越
ご返済方法	当行所定の審査によります
担保・保証人	
取扱手数料	組成難易度に応じてスキーム構築手数料が必要となります

- ・SX とは、Sustainability Transformation の略で、企業がサステナビリティ（持続可能性）を重視した経営方針に転換することです。
- ・本商品は環境省等が定めるガイドラインに適合する SLL（サステナビリティ・リンク・ローン）ではございません。

〈ひろぎん〉SXネクストローンにかかる評価書【別紙2】

有限会社栄晃
〈ひろぎん〉SXネクストローン

発行日：2026年7月28日
発行者：ひろぎんエリアデザイン株式会社

本文書は、株式会社広島銀行(以下、「貸付人」という)と有限会社栄晃(以下、「借入人」という)の間の〈ひろぎん〉SXネクストローン(以下、「本ローン」)について、貸付人が、持続可能な地域社会の実現に貢献することを目的とし、地域特性や業種特性を踏まえて独自に設定した評価基準に基づき、借入人のサステナビリティに対する取り組みを評価したものであり、以下にその評価結果を報告する。

1. 借入人とサステナビリティ

(1) 会社概要

借入人は、広島県呉市川尻町に本社を置く廃棄物処理・リサイクル事業者である。地域環境・地球環境への負荷低減を経営理念に掲げ、一般廃棄物、産業廃棄物および感染性産業廃棄物の収集運搬・処理をはじめ、廃棄物の再資源化に取り組んでいる。

単なる廃棄物処理にとどまらず、「リサイクル業」への転換を進め、廃プラスチックなどを原料とした新型固形燃料RPFの製造を通じて、化石燃料の代替利用やCO₂排出量の削減に貢献している。また、ISO14001認証を取得し、環境マネジメントシステムを運用することで、継続的な環境負荷の低減に取り組んでいる。

産業廃棄物の収集運搬は広島県、山口県および福岡県を対象とし、産業廃棄物の処分は呉市を対象として事業を展開している。



企業名	有限会社栄晃	
代表者	代表取締役 灰田 和宏	
本社所在地	広島県呉市川尻町才野谷624番地 1	
資本金	500万円	
設 立	1980年4月	
従業員数	20人	
事業内容	・ 産業廃棄物収集運搬処理業 ・ 一般廃棄物収集運搬処理業 ・ 廃棄物再生事業者登録業者 ・ 医療廃棄物収集運搬処理業 ・ 感染性産業廃棄物収集運搬処理業 ・ リサイクル事業	

(資料) 借入人ウェブサイトより作成



(2) 事業内容

借入人は、産業廃棄物処理会社として、廃棄物収集から産業廃棄物処理など6つの事業を展開している。

【借入人の事業領域とその概要】

区 分	概 要	特徴など
1. 一般廃棄物収集運搬事業	呉市を中心に、家庭ごみ、大型ごみ、引越しごみ等の一般廃棄物の収集運搬を行う。	- 一品からの回収、定期回収・臨時回収に対応。 - 大型ごみ・引越しごみの収集も実施。
2. 産業廃棄物収集運搬事業	- 事業活動に伴い発生する産業廃棄物の収集・運搬を行う。 - 収集運搬エリアは広島県、山口県、福岡県。	広域で収集運搬許可を取得し、産業廃棄物の収集運搬を実施している。
3. 医療・感染性廃棄物収集運搬処理事業	医療廃棄物および感染性産業廃棄物の収集運搬、処理を行う。	- 医療廃棄物収集運搬処理業、感染性産業廃棄物収集運搬処理業の許可を保有。 - 感染性廃棄物の処理にも対応している。
4. 産業廃棄物中間処理事業	収集した産業廃棄物について、中間処理施設で焼却、破碎、圧縮固化を実施する。	焼却（産業廃棄物・感染性廃棄物）、破碎（廃プラスチック類、紙くず、木くず等）、圧縮固化など複数の処理工程を保有している。
5. リサイクル・RPF製造事業	廃プラスチック等をリサイクルし、固形燃料RPFを製造する。	- RPFを「高カロリーの固形燃料」と位置付け、化石燃料代替によるCO₂削減への貢献を掲げている。 - ISO14001認証を取得している。
6. 廃棄物関連サポート事業	廃棄物処理に付随するサービスとして、機密書類処理、事務所および店舗の引越しや閉鎖支援、分別や運び出し、清掃等を提供する。	個人情報保護法に対応した機密書類処理のほか、引越し時の分別・運び出し・清掃まで一体的に対応している。



【収集運搬車】

【焼却設備】



【リサイクル製造した新型固形燃料】

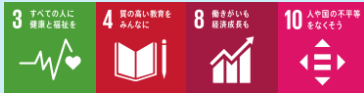
(資料) 借入人ウェブサイトより作成



(3) サステナビリティ

借入人は、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の理念に賛同し、SDGsの達成に向け、以下の取り組みを積極的に推進している。

【借入人のSDGsに資する取り組み】

区 分	概 要
地域と地球の環境を守る 	資源のリサイクル企業として、事業活動を通じた環境保全と汚染予防に取り組み、循環型社会の形成を目指している。 【主な取り組み】 環境保全への更なる貢献のためのISO14001取得 廃プラスチックをリサイクルした固形燃料RPFの開発・販売 社内外での環境教育・啓蒙の実施
人権 	人権・人格の尊重、ハラスメントの禁止明示と、労働安全衛生の徹底により、従業員にとって働きやすい職場環境づくりに取り組むこととしている。 【主な取り組み】 安全衛生の徹底・労災防止徹底 就業規則へのハラスメント禁止の明記
公正な事業慣行 	ISOに対応した組織づくりとコンプライアンス徹底、個人情報保護・管理徹底により、お客様と地域から信頼してもらえる企業を目指している。 【主な取り組み】 コンプライアンスの徹底、環境関連法規等の順守 個人情報の適切な管理・保護 ISO14001に対応した組織体制整備
地域貢献 	呉市に根差す企業として、地域活性化や地域での社会貢献活動に取り組み、持続可能な地域社会の実現を目指すこととしている。 【主な取り組み】 地元人材の積極採用 地元福祉施設への寄付 地域資源のリサイクル

(資料) 借入人提供資料より作成



2. 目標の選定

(1) 目標の概要

借入人は、「有給休暇取得率」および「ペットボトルリサイクル量」を目標に選定した。
有給休暇取得率は、従業員に付与された年次有給休暇の日数のうち、実際に取得した日数の割合を指し、全従業員を対象として目標達成を目指すものである。
一方、ペットボトルリサイクル量は、回収・再資源化された使用済みペットボトルの総重量である。借入人は、事業者への分別協力の働きかけや新規回収先の開拓等を通じて回収量の拡大を図り、リサイクル量の増加を目指す。

(2) 目標の重要性

本目標は、労働者の心身の疲労の回復とそれに伴う生産性の向上、およびリサイクル率や再資源化量の向上により循環型社会の実現につながるため、借入人のサステナビリティ経営に重要な意味を持つ。

(3) 経営方針と目標の関係

借入人は、前述のサステナビリティへの取り組みにおいて、「地域と地球の環境を守る」および「人権」等を重要なテーマとして掲げ、資源リサイクル企業として、事業活動を通じた環境保全と汚染予防に取り組み、循環型社会の形成を目指すとともに、人権・人格の尊重、ハラスメントの禁止および労働安全衛生の徹底により、従業員が働きやすい職場環境の整備を推進している。こうしたことから、本目標として設定した「有給休暇取得率」および「ペットボトルリサイクル量」は、借入人のサステナビリティ経営と整合するものである。

(4) 目標の有意義性

わが国では、「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」や「育児・介護との両立など働く方のニーズの多様化」といった課題に直面しており、投資やイノベーションによる生産性向上とともに、就業機会の拡大や意欲・能力を存分に発揮できる環境の整備が重要視されている。

労働者の心身の疲労回復と仕事の生産性向上につながる「年次有給休暇の取得」は、労働者に与えられた法律上の権利であり、本来付与された年次有給休暇はすべて取得されることが望ましい。しかしながら、厚生労働省が行った「令和7(2025)年就労条件総合調査」によると、令和6(2024)年の労働者1人当たりの年次有給休暇取得率は66.9%にとどまっている。近年、取得率は大きく上昇しているものの、さらなる改善の余地があり、今後の向上が期待されている。

【労働者1人平均年次有給休暇の取得状況】

企業規模・産業・年	(単位：日)		(単位：%)
	労働者1人 平均付与日数 ¹⁾	労働者1人 平均取得日数 ²⁾	労働者1人 平均取得率 ³⁾
令和7年調査計	18.1	12.1	66.9
1,000人以上	18.5	12.8	69.0
300～999人	18.4	12.3	66.8
100～299人	17.8	11.7	65.5
30～99人	17.4	11.3	64.9
飲業、採石業、砂利採取業	18.2	13.5	74.3
建設業	18.3	11.1	60.7
製造業	18.8	13.7	72.8
電気・ガス・熱供給・水道業	19.5	14.7	75.2
情報通信業	18.9	12.7	66.9
運輸業、郵便業	17.4	11.4	65.3
卸売業、小売業	17.5	10.5	59.9
金融業、保険業	19.6	14.3	72.8
不動産業、物品賃貸業	17.8	11.6	65.5
学術研究、専門・技術サービス業	18.4	12.3	66.8
宿泊業、飲食サービス業	15.9	8.0	50.7
生活関連サービス業、娯楽業	17.7	10.6	59.6
教育、学習支援業	18.3	11.1	60.5
医療、福祉	17.7	12.1	68.4
複合サービス事業	19.7	11.2	57.1
サービス業（他に分類されないもの）	16.4	11.4	69.7
令和6年調査計	16.9	11.0	65.3

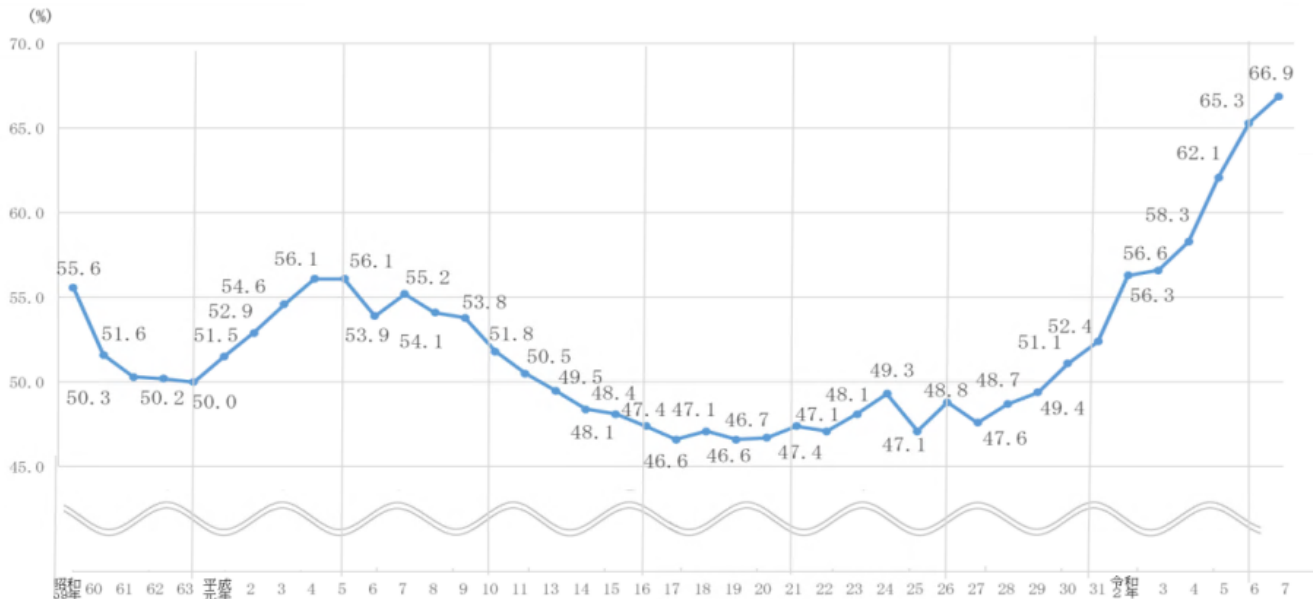
注：1)「付与日数」は、繰越日数を除く。

2)「取得日数」は、令和6年(又は令和5会計年度)1年間に実際に取得した日数である。

3)「取得率」は、取得日数計/付与日数計×100(%)である。

(資料) 厚生労働省「令和7(2025)年就労条件総合調査」

【労働者 1 人平均 年次有給休暇取得率の年次推移】



(資料) 厚生労働省「令和 7 (2025) 年就労条件総合調査」

こうした中、「過労死等の防止のための対策に関する大綱」（厚生労働省制定）では、令和10（2028）年までに年次有給休暇取得率を70%以上とする目標が掲げられている。これを踏まえ、労働基準法の改正による年次有給休暇の一定日数取得義務化や、計画的付与制度の導入促進など、政府による積極的な取得促進策が進められている。

一方、ペットボトルリサイクル量を増加させることは、循環型社会の実現と資源循環の高度化に大きく寄与するものである。環境省は、「プラスチック資源循環法」に基づき、プラスチックの使用削減、再使用及び再資源化を一体的に推進しており、廃棄物を単に処理するのではなく、資源として循環利用する仕組みへの転換を重要な政策として位置付けている。

ペットボトルは品質の高い再生材を得やすく、使用済みペットボトルを新たなペットボトルへ再生する「ボトルtoボトル」の水平リサイクルが可能な代表的な資源である。清涼飲料業界では2030年までにボトルtoボトル比率50%を目指す目標を掲げており、その実現には高品質な使用済みペットボトルを安定的に回収・供給する産業廃棄物処理業者の役割が不可欠である。

また、ペットボトルのリサイクル量を増加させることは、石油由来のバージン樹脂使用量の削減、温室効果ガス排出量の抑制、最終処分量の削減につながるだけでなく、資源価格や国際情勢に左右されにくい国内循環型サプライチェーンの構築にも貢献する。さらに、リサイクル率や再資源化量を定量的な目標として管理することは、事業活動の環境価値を客観的に示し、顧客や自治体からの信頼向上、サステナビリティ経営の推進に資するものである。

以上のことから、借入人が選定した本目標は、サステナビリティの実現に向けた国内目標および社会情勢と整合しており、有意義な取り組みであるといえる。



3. 目標値の設定

本ローンの目標値の設定については、以下の（１）から（３）の観点より適切な内容で設定されていると評価する。

（１）目標値の概要

借入人は、目標として設定した「有給休暇取得率」および「ペットボトルリサイクル量」について、2027年3月期から2033年3月期にかけて下表のとおり目標値を設定した。

【借入人の目標値】	実績			本目標値の対象		
	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期	2027年 3月期	2028年 3月期	2029年 3月期
有給休暇取得率(%)	40.6	48.6	73.0	60.0	65.0	70.0
ペットボトル リサイクル量(t)	15.52	14.52	13.06	13.41	13.71	14.01

	2030年 3月期	2031年 3月期	2032年 3月期	2033年 3月期	(参考)2034年 3月期
有給休暇取得率(%)	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
ペットボトル リサイクル量(t)	14.31	14.61	14.91	15.21	15.52

（注）各年度の判定期間は4月1日～3月31日までとし、初回判定日は2027年3月31日とする。

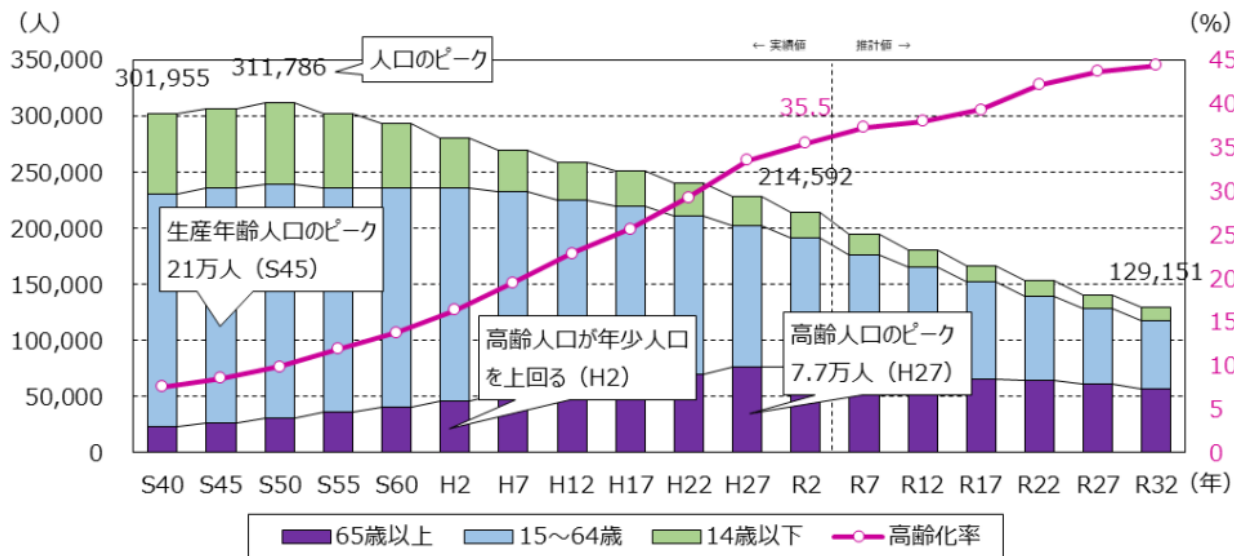
（２）目標値の妥当性

借入人の有給休暇取得率は、2026年3月期において、経営者による積極的な取得促進の働きかけなどにより、73.0%（過去3期平均54.1%）まで大幅に向上した。一方、2026年度から年間休日を87日から107日に増やしたことにより、会社指定休日が増加し、従業員が有給休暇を取得する機会は相対的に減少することが見込まれる。そのような環境下においても、計画的な取得促進や業務の平準化を進めることで、2029年3月期以降は政府が掲げる「2028年までに有給休暇取得率70%」の水準を維持することを目指しており、挑戦的な目標であると評価する。

一方、ペットボトルリサイクル量は、2024年3月期の15.52tから2026年3月期には13.06tまで減少している。背景には地域人口や事業所数の減少があり、呉市の将来推計人口においても今後さらなる人口減少が見込まれている。このような状況下で、2034年3月期までに2024年3月期の水準への回復を目指し、事業者への分別協力の働きかけや新規回収先の開拓により、2027年3月期に0.35t、2028年3月期以降毎年0.30tずつリサイクル量を増加させることは、挑戦的な目標であると評価する。

以上より、両目標は、就労環境の改善と資源循環の推進を通じて借入人のサステナビリティ経営を一層推進するものであり、いずれも挑戦的な目標であると評価する。

【呉市の年齢3区分人口推計と将来推計】



令和2年以前は、総務省「国勢調査」、令和7年以降は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」をもとに作成

（資料）呉市「呉市人口戦略プラン」（令和8年3月）

【呉市の事業所数推移】

調査年	事業所数	増減
2012年（平成24年）	10,337事業所	—
2016年（平成28年）	9,534事業所	▲7.8%
2021年（令和3年）	8,956事業所	▲6.1%

（資料）呉市「令和7年度版 呉市統計書」より作成

（3）目標値の適切性

目標値の適切性については、第三者機関であるひろぎんエリアデザインから評価書を取得している。



借入人は、前述の「1. 借入人とサステナビリティ」、「2. 目標の選定」、「3. 目標値の設定」に関して、自らの対応について客観的な評価が必要と判断し、ひろぎんエリアデザインによるレビューおよび目標値として設定する指標の検証を依頼した。

当該依頼を受け、ひろぎんエリアデザインは、地域特性や業種特性を踏まえて借入人が独自に設定した評価基準について確認の上、評価書を作成した。貸付人も、ひろぎんエリアデザインが評価書を作成することを承諾している。ひろぎんエリアデザインの評価書は貸付人に提供される。

ひろぎんエリアデザイン 会社概要

社名 ひろぎんエリアデザイン株式会社

代表者 代表取締役社長 越智 大輔

所在地 〒730-0031
広島県広島市中区紙屋町1丁目3-8

設立 2021年4月1日

資本金 1億5,000万円

株主 株式会社ひろぎんホールディングス

TEL 082-504-3016



留意事項

1. ひろぎんエリアデザインの評価について

本文書については、貸付人が借入人に対して実施する〈ひろぎん〉SXネクストローンについて、設定する目標の妥当性に対する評価を述べたものです。

その内容は、入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

ひろぎんエリアデザインは、本文書のあらゆる使用から生じる直接的・間接的損失や派生的損害については、一切責任を負いません。

2. 貸付人との関係性、独立性

ひろぎんエリアデザインは、ひろぎんグループに属しており、貸付人およびひろぎんグループ企業との間、およびひろぎんグループのお客さま相互の間における利益相反のおそれのある取引等に関して、法令等に従い、お客さまの利益が不当に害されることのないように、適切に業務を遂行いたします。

また、本文書にかかる調査、分析、コンサルティング業務は、貸付人とは独立して行われるものであり、貸付人からの融資に関する助言を構成するものでも、資金調達を保証するものでもありません。

3. ひろぎんエリアデザインの第三者性

借入人とひろぎんエリアデザインとの間に利益相反が生じるような、資本関係、人的関係等の特別な利害関係はございません。

4. 本文書の著作権

本文書に関する一切の権利は、ひろぎんエリアデザインが保有しています。本文書の全部または一部を、自己使用の目的を超えて、複製、改変、翻訳、頒布等を行うことは禁止されています。